

8-1 NO.45-2

GAa1/1

8-1-45-2

第7回全国婦人会議

移動会議のしおり

昭和34年4月13日

少年室長殿

佐賀婦人少年室

佐賀
婦人少年室

34.4.11

收佐婦第202号

労働省婦人少年局

女性と仕事の未来館



00941595

は し が き

第七回全国婦人会議の移動会議は、四月十三日に会議員が四班（東京・神奈川・千葉・埼玉）に分れてバスで、職場、社会施設、社宅、寄宿舎等、集団生活に關係のあるところを視察し、視察先の婦人と懇談して見聞をひろめ、これをさらに全国婦人会議の討議に反映させることによつて、會議の内容をより豊かにすることを目的としたものです。

ここに各班毎の視察順路、および各事業場、社会施設等の概況をまとめて、参考に供します。

昭和三十四年三月

労働省婦人少年局

目

次

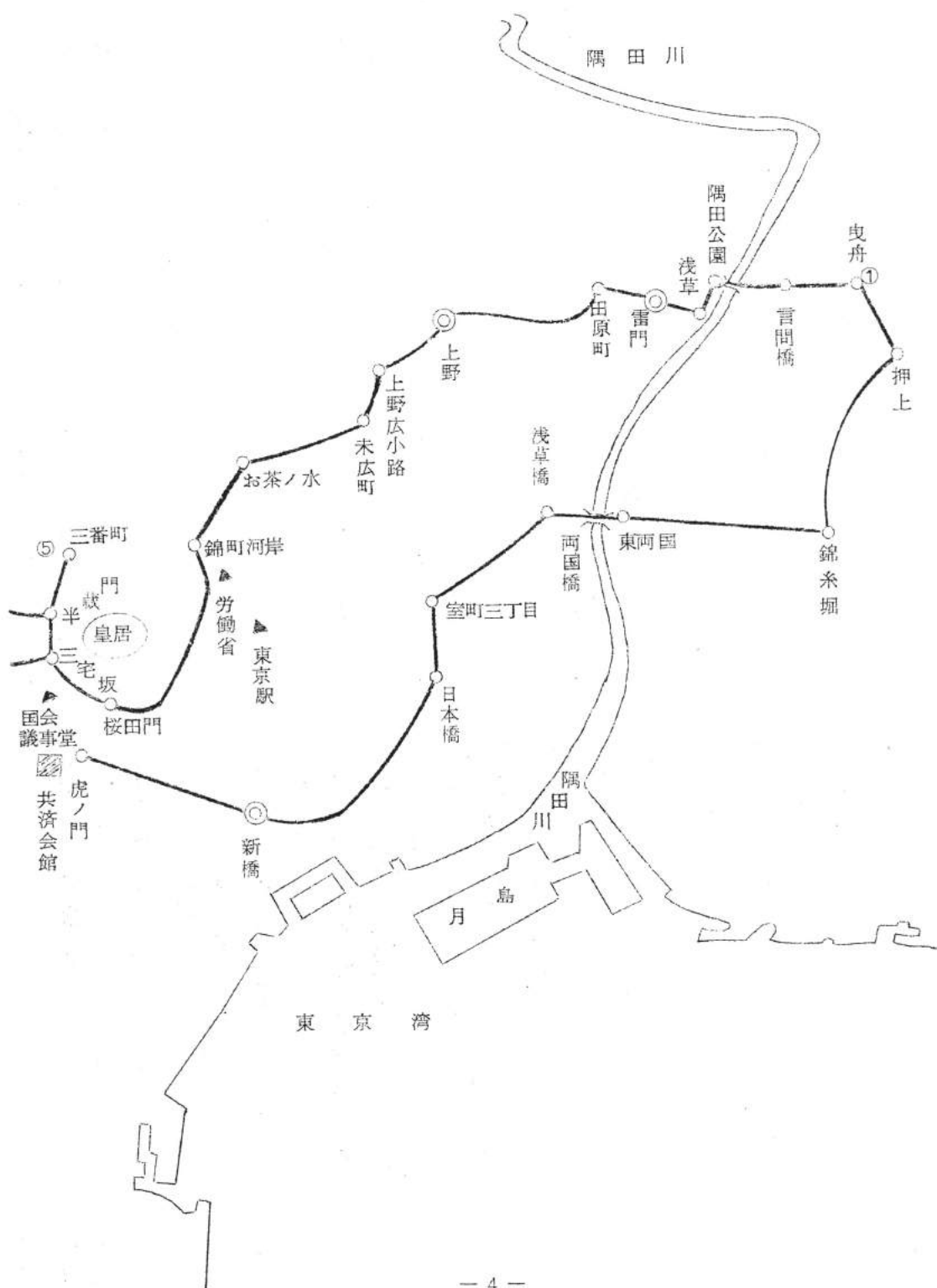
一、各班コースと地図	一	神奈川県立ゆかり園	二三
東京班	一	四、千葉班参考資料	二四
神奈川班	六	社会福祉法人八幡学園	二四
千葉班	〇	千葉港	二四
埼玉班	三	川崎製鉄株式会社千葉製鉄所	二五
二、東京班参考資料	一七	千葉県漁業協同組合婦人部連絡 協議会について	二六
資生堂東京工場	一七	五、埼玉班参考資料	二七
社会福祉法人浴風会	一七	幸松地区の婦人の部落学級	二七
東京都住宅協会祖師谷住宅	一八	岩槻市の人形製造業	二八
東京都新宿生活館	一九	東邦レース株式会社上尾工場	二八
三、神奈川班参考資料	二一	郷土芸能もちつきおどり	二九
日本鋼管株式会社川崎製鉄所	二一		
神奈川県勤労婦人会館	二三		

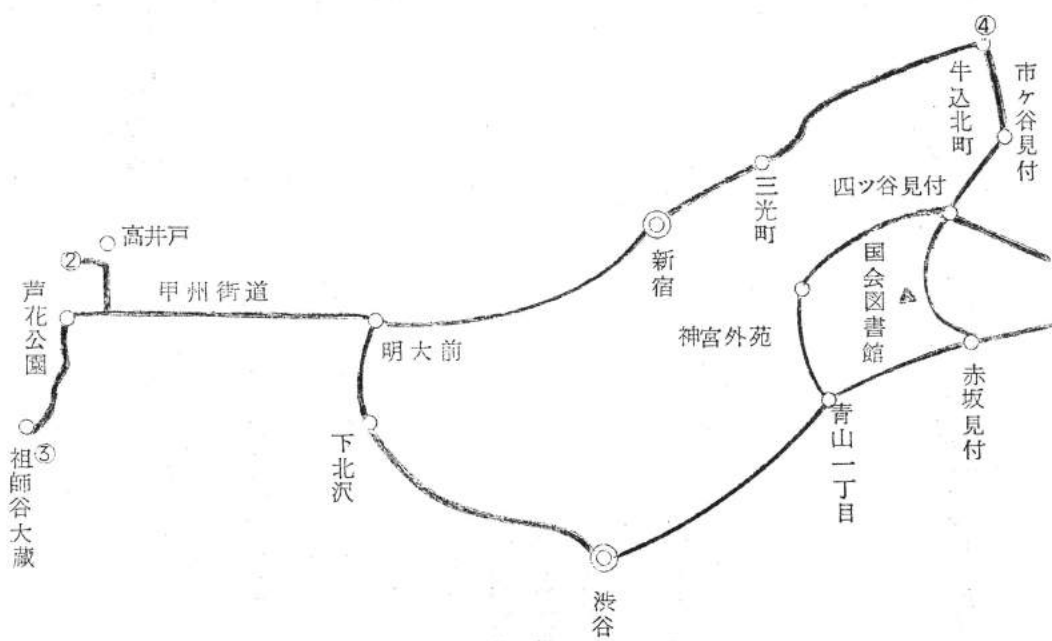
東京班コース

視 察 地	所要時間	予 定 時 刻	備 考
バス 虎ノ門共済会館より資生堂東京工場	四〇分	八・三〇～九・一〇	(経路) 共済会館～新橋～日本橋～両国橋～押上～曳舟～ 資生堂東京工場 担当技師より概況説明 (連絡先) 墨田区寺島四の七〇 資生堂東京工場内、日向勤労課長 電 68 一、一七一
バス 資生堂東京工場視察	七〇分	九・一〇～一〇・二〇	最寄駅浅草より東武線曳舟下車徒歩二分 (経路) 資生堂工場～言問橋～浅草～上野～お茶ノ水～労働省前～三宅坂～渋谷～明大前～甲州街道～浴風園 説明者 下 松 園 長 於三階会議室 懇談会場(礼拝堂内広間) 参加者 老人 約一〇名 職員 二～三名
バス 資生堂工場より浴風園	七〇分	一〇・二〇～一一・三〇	
浴風園概況説明聴取	二〇分	一一・三〇～一一・五〇	
昼 食	四〇分	一一・五〇～一二・三〇	
視察および老人との懇談	六〇分	一二・三〇～一三・三〇	

視 察 地	所要時間	予 定 時 刻	備 考
バス 浴風園より祖師谷住宅 祖師谷住宅視察 住居施設・共同施設 並びに祖師谷児童館 主婦との懇談会 於 小集會室	二〇分 四〇分	一三・三〇～一三・五〇 一三・五〇～一四・三〇	司 会 東京婦人少年室長 (連絡先) 杉並区上高井戸三の八四八 浴風会事務局 ☎ 〇一六五・九一五二一 最寄駅渋谷より京王帝都井ノ頭線高井戸下車 徒歩六分
バス 祖師谷住宅～新宿生活館	九〇分	一四・三〇～一六・〇〇	出席者 主婦 約一〇名 職員 三～四名 司 会 東京婦人少年室長 (連絡先) 世田谷区祖師谷二丁目四一の一 祖師谷住宅管理事務室 最寄駅新宿より小田急線祖師谷大蔵下車 徒歩七分 (経 路) 祖師谷住宅～芦花公園～明大前～新宿駅前～ 三光町～若松町～新宿生活館

新宿生活館視察 生活館事業についての 説明聴取	三〇分 一六・三〇～一七・〇〇	説明者 村田福祉課長 (連絡先)
バス 新宿生活館～福岡県人 会館 夕食および協助員と の懇談	五〇分 一七・三〇～一八・二〇	新宿区篠筒町一五 東京都新宿生活館福祉課 電 33 三六六七・八七八八 最寄駅都電牛込北町下車徒歩二分 (経路)
バスにて宿舎へ	一〇分 一九・二〇～一九・三〇	生活館～四谷見付～神官外苑～国会議事堂～国会 図書館～半蔵門～福岡県人会館 (連絡先) 千代田区麴町一の二二 福岡県東京事務所 電 33 九八六一





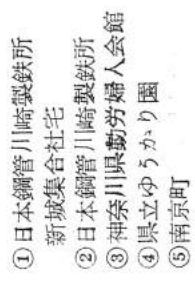
- ① 資生堂東京工場
- ② 浴風園
- ③ 祖師谷住宅
- ④ 新宿生活館
- ⑤ 福岡県人会館

神 奈 川 班 コ ー ス

視 察 地	所要時間	予 定 時 刻	備 考
バス 虎ノ門共済会館より武蔵 新城 日本鋼管川崎製鉄所新城社 宅並びに保育園視察 (川崎市上小田中三〇〇)	六〇分 一五分	八・三〇―九・三〇 九・三〇―九・四五	虎ノ門―五反田―丸子橋―武蔵中原―武蔵新城 社宅 連絡先 日本鋼管川崎製鉄所 厚生課 諸戸金吾 (電)川崎(2) 二五六一 又は新城社宅事務所 (電)中原 二三〇四 最寄駅川崎駅より南部線武蔵新城駅下車 徒歩五分
勤労者の主婦との懇談会 於 新城集合社宅 綜合事務所大広間 バス 新城社宅より川崎製鉄所	六〇分 三〇分	九・四五―一〇・四五 一〇・四五―一一・一五	参加者 主婦 一五名 生活指導担当官 三名 司 会 神奈川婦人少年室長 道案内 川鉄職員

日本鋼管川崎製鉄所視察 (川崎市南渡田町二七三〇)	五五分	一一・一五一二・一〇	連絡先 日本鋼管川崎製鉄所庶務部庶務課 岩田正勝 (電)川崎(2) 二五六一 四〇五〇 最寄駅川崎駅より鋼管バスにて日本鋼管正門下車
バス 川崎製鉄所より神奈川県勤 労婦人会館へ	二〇分	一二・一〇一三・三〇	館長より概況説明 連絡先 神奈川県勤務婦人会館長 大村 ヨシエ (電)川崎(2) 五六四二
昼食 神奈川県勤労婦人会館視察 (川崎市南幸町三ノ一五七)	六〇分	一二・三〇一三・三〇	最寄駅川崎駅より南部線尻手駅より徒歩五分 才二国道一反町一防衛通路一厚木街道一下白根 より左に入り一三ツ境駅一ゆうかり園
バス 婦人会館よりゆうかり園 県立ゆうかり園視察 (横浜市戸塚区二ツ橋四六八)	八〇分 六〇分	一三・三〇一四・五〇 一四・五〇一五・五〇	連絡先 県立ゆうかり園 次長 伊藤玉造 (電)瀬谷 一七六番 最寄駅横浜駅より相鉄線三ツ境下車 徒歩二〇分

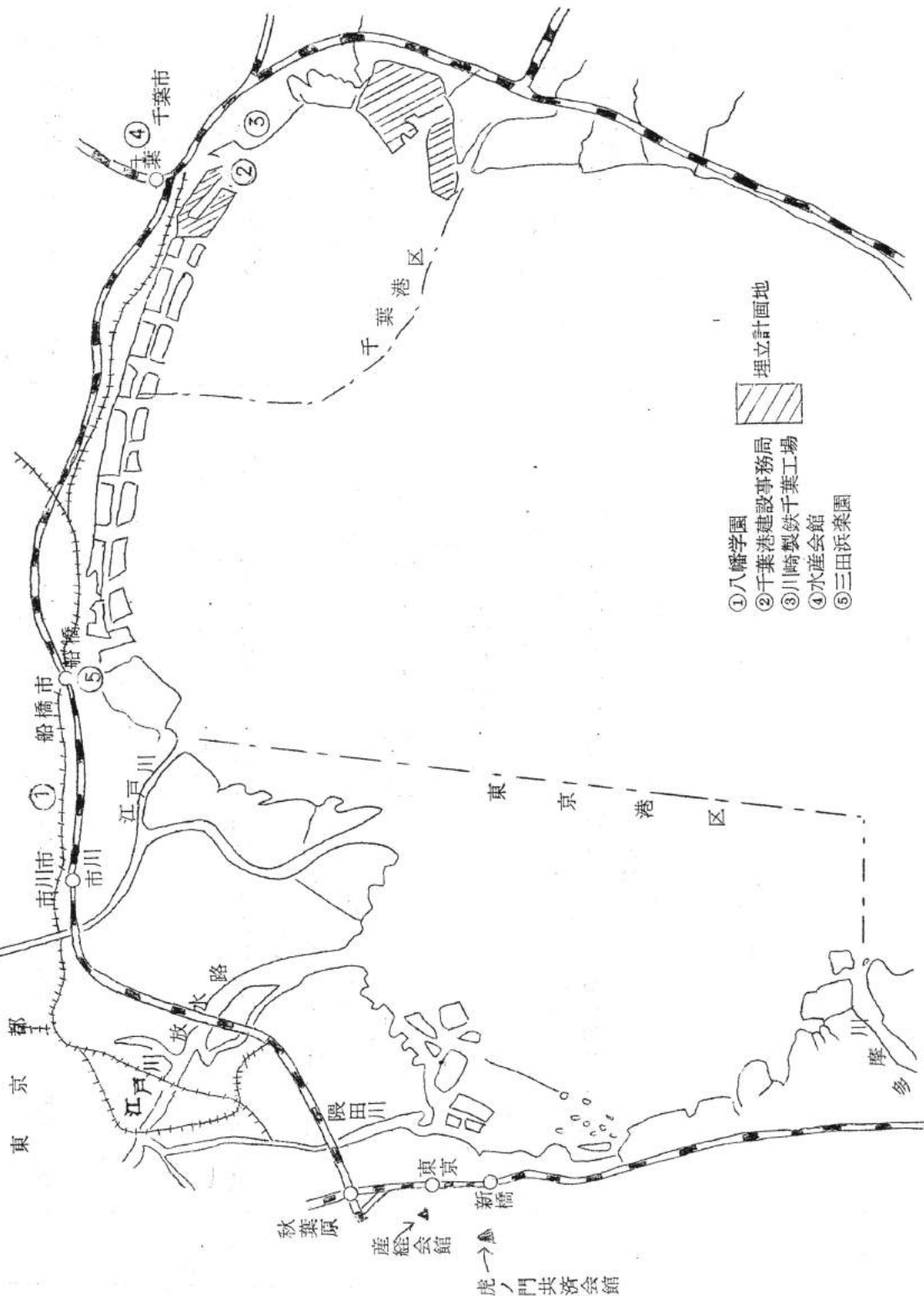
視 察 地	所要時間	予 定 時 刻	備 考
バス ゆうかり園―桜木町―生糸検査所―日本郵船―メリケン波止場―シルクセンタ―外人墓地―南京町 南京町「同発」にて夕食 (横浜市中区山下町 一四八) バス 南京町―虎ノ門共済会館	九〇分 六〇分 七〇分	一五・五〇―一七・二〇 一七・二〇―一八・二〇 一八・二〇―一九・三〇	ゆうかり園―厚木街道―浜松町―桜木町―税関機橋 連絡先 中華菜館「同発」 (電) (8) 七二七三 才二国道



千葉班コ1ス

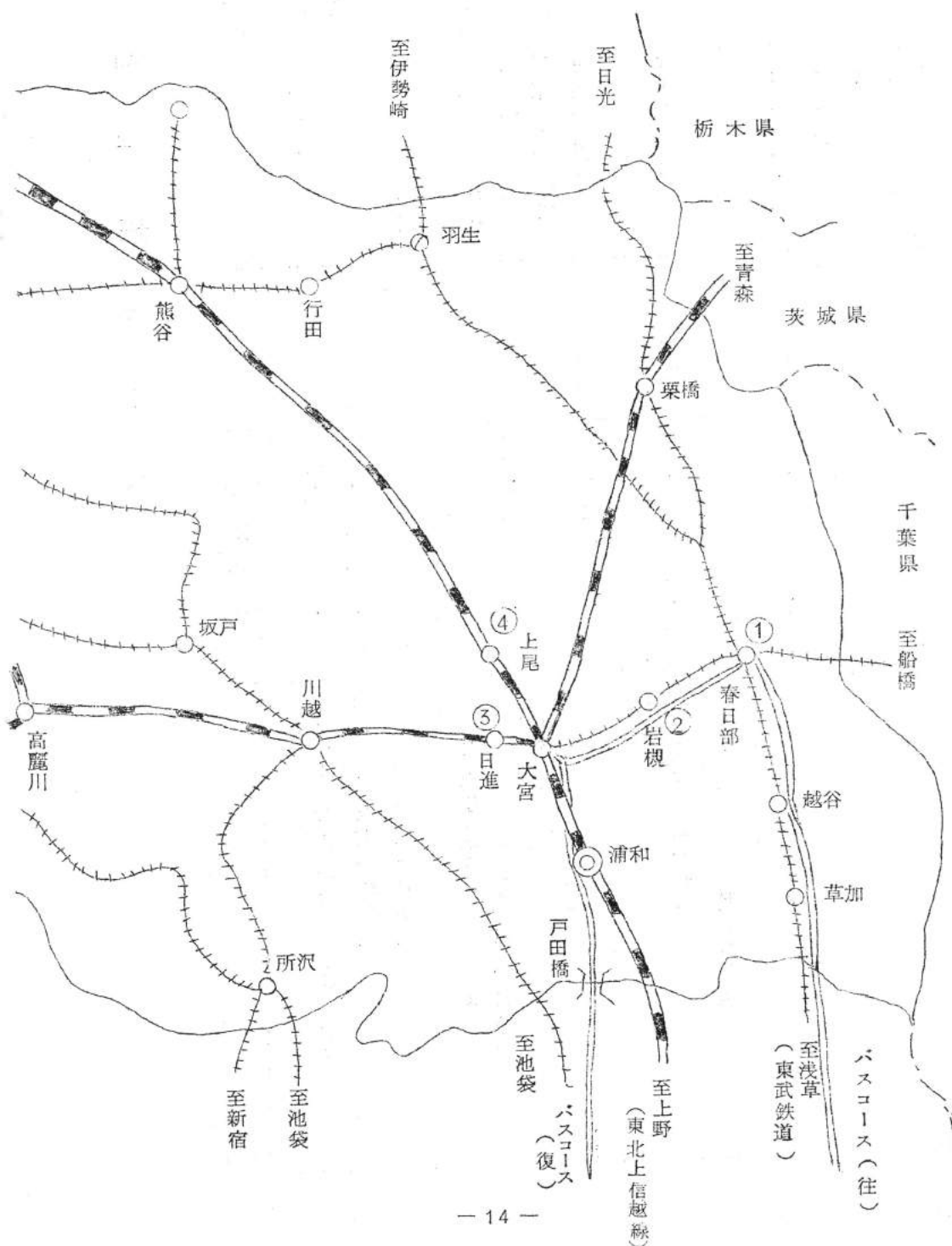
視 察 地	所要時刻	予 定 時 刻	備 考
バス 虎ノ門より市川市へ 八幡学園 (市川市北方町三ノ四九二) (電) 市川 三七六三 精薄児施設教育状況視察 バス 八幡学園より千葉港へ 千葉港 (建設事務局、千葉市神明 町四九七 (電) 千葉(2) 四一八六(八) 船で千葉港及び埋立状況 視察 川崎製鉄株式会社千葉製鉄所 (千葉市川崎町一 (電) 千葉(2) 三三三二・四一三二)	六〇分 六〇分 四〇分	八・三〇―九・三〇 九・三〇―一〇・三〇 一〇・三〇―一一・一〇	虎ノ門―浅草橋―小松川橋―市川橋―八幡学園 市川―船橋―千葉
	六〇分	一一・一〇―一二・一〇	川崎製鉄一万トン岸壁に上陸

中食（製鉄所会議室にて）	五〇分	一二・一〇―一三・〇〇	基準局長・協助員会長・県婦連会長も参加
工場視察（バス利用）	九〇分	一三・〇〇―一四・三〇	
バス			
水産会館へ	一五分	一四・三〇―一四・四五	
漁村婦人との懇談会	一二〇分	一四・四五―一六・四五	映画「荒海に生きる女達」を上映（約四〇分）する。
（千葉水産会館会議室）			参加者は漁協婦人部員一五名
千葉市通町六八、			司会 千葉婦人少年室長
電千葉(2)二一六一（四）			
バス	三〇分	一六・四五―一七・一五	
船橋へ			
夕食	六〇分	一七・一五―一八・一五	
（三田浜楽園、船橋市湊町）			
バス			
虎ノ門へ	七五分	一八・一五―一九・三〇	船橋―市川―小松川橋―浅草橋―虎ノ門



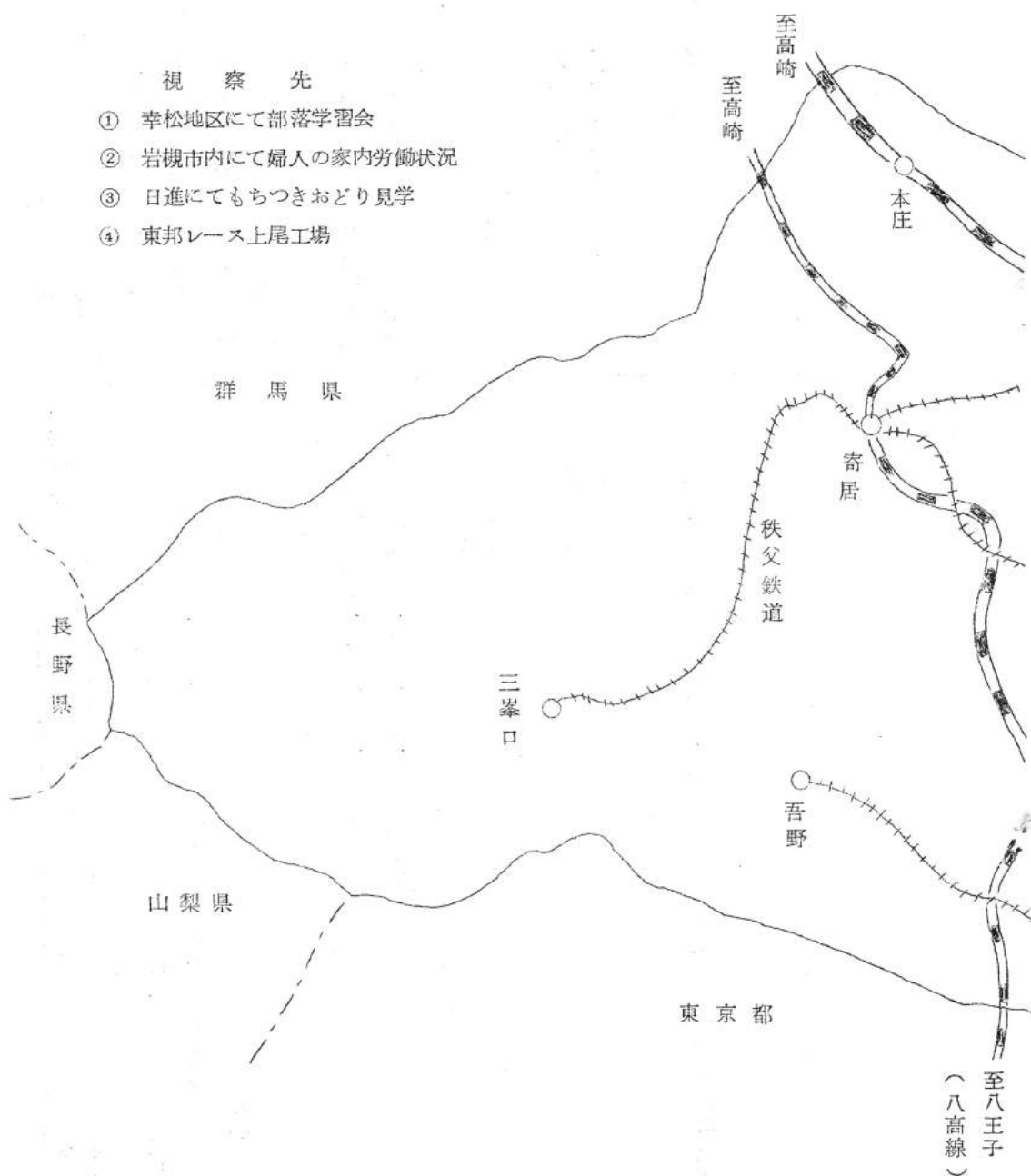
埼玉班コース

視 察 地	所要時間	予 定 時 刻	備 考
バス 虎ノ門より春日部市 部落学習会視察 (春日部市大字不動院野幸 松婦人会西不動院野 支部長 萩原 なお氏宅 地域婦人との懇談会 (前記 萩原 氏宅にて) 中食 (懇談会会場員) バス 春日部市より岩槻市へ 岩槻人形製作における婦 人の家内労働状況視察 (岩槻人形株式会社外) (電) 岩槻一〇六・三七六	九〇分 六〇分 九〇分 三〇分 二〇分 六〇分	八・三〇―一〇・〇〇 一〇・〇〇―一一・〇〇 一一・〇〇―一二・三〇 一二・三〇―一三・〇〇 一三・〇〇―一三・二〇 一三・二〇―一四・二〇	虎ノ門―上野―千住大橋―草加―越谷―春日部 幸松小学校前一時停車 (長野婦人会会長乗車) 連絡先 春日部市教育委員会 小川主事 (電 春日部 二〇、二五八) 参加者 婦人会員 二〇名 司 会 埼玉婦人少年室長 幸松小学校前一時停車 岩槻市役所にて 遊馬商工課長乗車 遊馬商工課長乗車



視 察 先

- ① 幸松地区にて部落学習会
- ② 岩槻市内にて婦人の家内労働状況
- ③ 日進にてもちつきおどり見学
- ④ 東邦レース上尾工場



視 察 地	所要時間	予 定 時 刻	備 考
バス 岩槻市より大宮市日進へ もちつきおどり見学 (大宮市日進二丁目七三五 柳 田 茂 氏宅) バス 大宮市日進より上尾市へ 東邦リース株式会社上尾 工場 (上尾市上尾宿一八一〇 (電) 大宮 二六五〇) 寄宿舎施設見学 自治会役員と会食 バス 宿舎へ	四〇分 五〇分 二〇分 一一〇分 六〇分 五〇分 九〇分	一四・二〇―一五・〇〇 一五・〇〇―一五・五〇 一五・五〇―一六・一〇 一六・一〇―一八・〇〇 一八・〇〇―一九・三〇	見沼用水畔より大宮市広報車先導 もちつきおどり保存会 (大宮市無形文化財) 連絡 上尾工場総務部 上尾―大宮―浦和―戸田橋―志村― 虎ノ門

◎ 資生堂東京工場

(所在地 東京都墨田区寺島四の七〇)

1. 沿革

明治五年、東京銀座に「資生堂薬局」として創業。民間洋風調剤の嚆矢といわれている。明治二年、福原衛生歯磨石けん発売、煉歯磨の初め。

明治三〇年、香油、オイデルミン等の化粧品製造に着手。

明治三二年、ソーダファウンテンを併設。わが国で最初のアイスクリームとソーダ水の製造販売である。

大正一〇年、合資会社組織に変更。

大正一一年、資生堂石けん発売。

大正一二年、大阪に化粧品工場を増設。

昭和二年、株式会社組織に変更。

昭和三年、品川に工場開設。

昭和五年、品川工場を閉鎖して寺島に工場を開設現在に至る。

2. 規模

(1) 資本金、三億円

(2) 販売会社、七三社

- (3) 東京工場従業員数、七一〇名
- 事務所、男一二〇・女三〇
 - 現場、男一六〇・女四〇〇
3. 製品
- 歯磨、石けん、整髪用品、クリーム、白粉、紅、香水等化粧品一般。

◎ 社会福祉法人浴風会

(所在地 東京都杉並区上高井戸三の八四八)

1. 沿革

大正一四年一月、関東大震災のため自活不能に陥つた老衰廃疾者を收容保護するため恩賜金、御下賜金、一般義損金を基金として財団法人浴風会設立。

大正一四年五月、要保護者の委託保護開始。

昭和二年二月、浴風園に收容保護開始。

昭和三年四月、横浜分園を新築。

昭和七年一月、救護法施行により同法による被保護者の委託收容を開始。

昭和一六年一〇月、医療保護法施行に伴い、浴風園病室は同法による医療施設となる。

昭和一八年八月、横浜分園を神奈川県希望により同県に移譲。

昭和二一年九月、生活保護法の施行により同法による委託施設となる。

昭和二七年五月、社会福祉法人に改組さる。

昭和三〇年一月、黒光ホーム開寮。

2. 浴風園概況（在園者数約六〇〇名）

(1) 敷地、二万七千余坪

(2) 建坪、三千五百余坪（五〇棟）

(3) 事業方針

老後を温い家族的雰囲気の中で過せるよう、健康な老人を二三の家庭寮に收容し各寮に一名の寮母をおいており、虚弱者は静養寮、虚弱者寮に收容している。老人の無為感を救うために、老人でもやれる種々の活動を奨励しており、木工玩具、縫物、編物、造花、園芸、養豚等三〇余種の軽作業が行われている。また単調になり勝ちな老人の生活に変化と楽しみを与えるために、外部からの慰問演芸等のほか、老人達の自主的な趣味のグループをつくっている。さらに読書の習慣を与えるために、多くの図書を備えて貸出しを行っている。なお毎週の法要法話のほか、春秋の彼岸等には盛大な行事を実施し、時にはキリスト教の牧師によ

る宗教講話を行う等、宗教的な面での慰安に努めている。

(4) 黒光ホーム（定員一四名）

故相馬愛蔵・黒光夫妻の寄付を中心とする三百七十三万円の基金によつて建設された有料老人ホームで、確実な生活の資力はあるが家庭的に恵まれぬ六五才以上の老人のために、老後生活の安全と幸福をはかることを目的としている。

◎ 東京都住宅協会祖師谷住宅

（所在地 東京都世田谷区祖師谷二丁目）

1. 東京都住宅協会について

大正九年二月、東京府住宅協会として発足し、小住宅の建設・経営に当たってきたが、昭和二五年、住宅金融公庫の業務開始と同時にその融資を受け、いわゆる頭金を東京都から借入れて、鉄筋コンクリート造不燃耐火住宅の建設・経営を目的として業務を開始した。昭和三四年二月現在、賃貸住宅六九団地三一一棟八二四二戸が完成している。

2. 祖師谷住宅について

住宅協会が初めて都市計画一団地住宅として昭和三〇年度三一年度の二カ年にわたつて建設したもので、住宅をはじめ施設の配置計画等の事業実施については、東京工大谷口教授東大高山教授、早大武教授の指導を得た。有志の主婦の間に

“婦人の集い”という組織がある。

(1) 敷地〓二二・九六三坪六一

(2) 経費〓九億四、四七六万八、八四三円

(3) 戸数〓一、〇二〇戸

(4) 住宅の種別

A型〓六帖・板間三・一坪(家賃四、六〇〇円)

B型〓六帖・四帖半・板間二・五坪(家賃五、二〇〇円)

C型〓六帖・四帖半(家賃四、六五〇円)

D型〓六帖・板間二坪(家賃四、一〇〇円)

(5) 集会所

大集会室、小集会室、生活相談室等から成っているが、

この運営は生活科学化協会が委託されており、指導員による生活相談のほか、各種講習会、レクリエーション等を行っている。

(6) 祖師谷児童館

団地内の児童のみを収容する方針をとっているため、児童福祉法による保育事業の認可を受けていないがこれに準じて運営されている。午前八時から午后四時までの保育時間は家庭の都合によつて、午前七時から午后七時まで延長されるので、勤務をもつ母親に喜ばれている。また、午后四時以後は団地の小学生の勉強室として保育室が開放されている。

○乳児定員〓一二名

○幼児定員〓九〇名

◎ 東京都新宿生活館

(鉄筋コンクリート)
延坪九二〇坪

(所在地 東京都新宿区簗笥町一五)

1. 沿革

昭和二六年五月、地域組織化事業(コミュニティ・オーガニゼーション)をすすめるためのモデルセンターとして発足した。建物は旧牛込区役所庁舎で新宿区が提供し、都が一切の経費を負担して設立をみたものである。

2. 運営方針

新宿生活館は、つぎのような考え方を基盤として運営されている。

地域組織事業の目標は、住民が民主的な協力により社会資源を増進し、人間的な愛情と善意のつながりによつて少しでも明るい社会をつくろうとすることであり、地域組織事業は対等な個人の協力を基盤として、相互の人間的な地位の自覚の上に共同の福祉を求めるとの、共同の配慮として成立する。高い者が低い者を引上げるという恩恵的な要素をもつセツルメントとは異り、地域組織事業はあくまで対等な立場において人々が良識と善意でつながるもので、地域社会全体の共同の福祉を増進するための協同の営みである。この共同の福祉を増進するためにまず必要なことは、地域社会の中に存

在する生活上の欲求（ソシアル・ニード）を把握することである。生活館の仕事は、この欲求を把握してそれを充たすことによつて社会福祉を増進しようとする地域的なサーヴィス活動である。

以上のような考え方に立つて、各種社会福祉施設の総合的な経営がなされている。

3. 事業

○ 各種相談（法律相談、人事相談、結婚相談）。

○ こどものために（託児室、婦人児童図書室）。

○ 経済生活のために（授産場、公益質屋、簡易洗濯所、理容室）。

○ 住むところを愛情と文化で結ぶために（社会生活学校、婦人土曜大学、夜間教室、各種講習会、結婚式場、老人クラブ、ホールと集会室、クラブ活動（まつば会（奉式者クラブ、青葉会（未婚者クラブ、婦人勉強会、まりも会（染色研究会、子供会、託児室母の会など））。

◎日本鋼管株式会社川崎製鉄所

(所在地 川崎市南渡田町二七三〇)

1. 沿革

日本鋼管株式会社は明治四五年六月に、鋼管の製造を目的として発足したものであるが、事後四〇有余年の間の、設備の拡張、技術の向上にはめざましいものがあり、現在、資本金一五〇億圓、東京本社のはかに、大阪、名古屋、北海道、州営業所、米国事務所で営業を行っている。事務所は川崎製鉄所のはかに、鶴見、富山、新潟製鉄所、鶴見及び清水造船所があり、三万名におよぶ従業員を擁して、わが国三大製鉄会社の一つとしての地位を占めている。

2. 規模

今回視察を行う川崎製鉄所は京浜工業地帯の中核に位置し製鉄及びコークス製造設備並びに製鋼及び圧延設備、化成品炉材並びに肥料製造設備、各種製品の検査設備などを持つわが国屈指の大製鉄工場で、工場用地面積約二四四万平方米（七三万八千五百坪）、従業員は一万二千五百名、うち女子従業員はさすがに少くて四三〇名である。

3. 川崎製鉄所における従業員のための福祉施設並びに新生活運動

(1) 住宅施設

独立社宅	一六九棟	一九二戸	五二九室
独身寮	一四		三六六
集合社宅	二五	六〇一	九四二

今回視察及び懇談を行う新城社宅は南武線の沿線に所在し敷地約五三三アール（一万六千三百三七坪）建物延一五一アール（四千五百六九、六九坪）二階建六棟、その他鉄筋アパート一棟を建設、三棟が現在建設中である。

(2) 保育所

主として保育所周辺に在住の従業員子弟を収容し、保育に当たっている。

所在地	収容人員	保育数	建物面積	敷地
桜本町 川崎市桜本町二の三〇	九一	三	一九八 ^m ²	七四〇 ^m ²
鹿島田 川崎市古市場一の二六	六一	三	一一一	五九四
山王 川崎市山王町三九三	一〇〇	三	一九八	七六六

所在地	収容人員	保母数	建物面積	敷地
新保所	川崎市上小田中三〇〇	一四六	五	二六四m ² 九九一m ²

計 三八八 一四

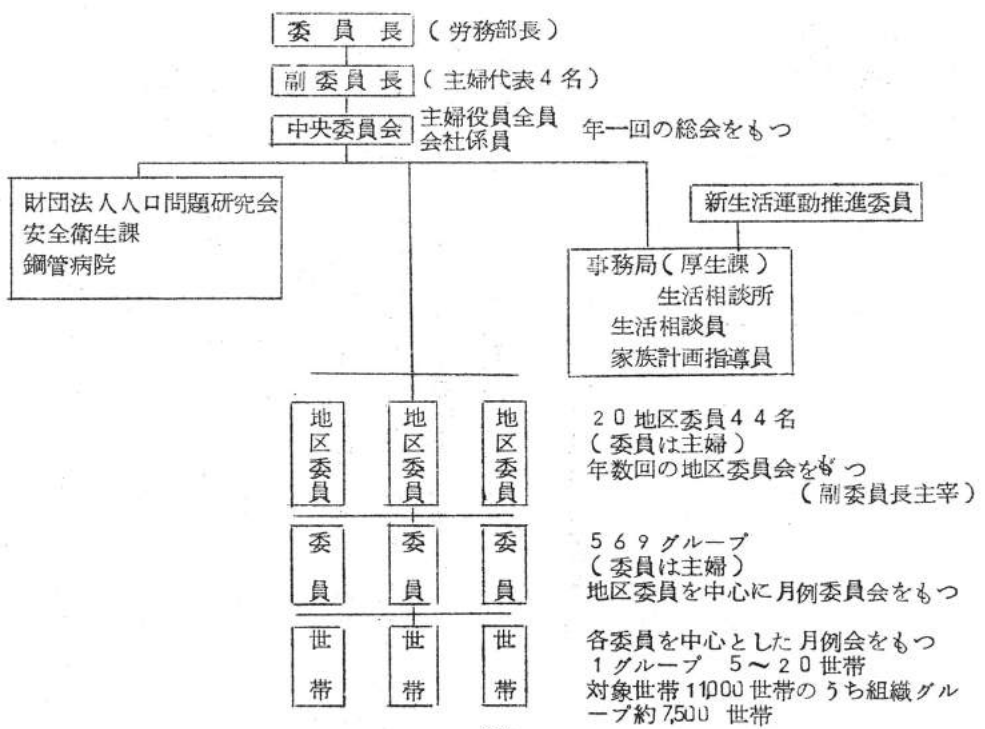
(3) 新生活運動

昭和二八年四月杜宅地区約一千世帯を対象に運動を展開し逐次地域を拡大し、現在は川崎市及び東京都、横浜市の一部約七千五百世帯をグループ組織し、運動を展開中である。

A 運動実施状況及び組織図

- (a) 川崎市及び横浜市の一部を二〇地区の指導区域にわけ、家族計画指導を中心に運動を展開したが、一応家族計画の指導は完了したので、生活指導に重点を移行し、実施している。
- (b) 家族計画指導員は、当初二〇名を配置していたが、運動の進展に伴い現在は八名で地区を担当し常時巡回指導を行っている。
- (c) 生活相談員は四名、夫々地域を担当し、グループ育成、生活指導に当たっている。
- (d) 各地区は組織図の如く主婦を主体として組織され、委員により運営されている。
- (e) 各地区に対する伝達の事項は相談員指導員文書等により実施し、各委員の事務局に対する連絡もまたこの

新生活運動組織系統図



経路による。

新生活運動の一環として新生活運動事務局内に設置し夫々専門家による解答により、従業員及びその家族が安心して生産に邁進できるよう、また明るい家庭生活建設の一助としている。

◎神奈川県勤労婦人会館

(所在地 川崎市南幸町三の一六〇)

神奈川県勤労婦人会館は昭和二十九年、働く婦人及び勤労者の主婦の教養と憩いのための施設として労働省の資金補助により設立されたもので、敷地面積五五〇坪、建坪二二九・三六坪(延)の鉄筋コンクリートの近代的な会館である。一五〇名を収容できる講堂をはじめ講習室(会議室)、和室、娛樂室、調理室、食堂、浴室その他談話室、図書室などがあり、各種の講演会や料理、手芸、生花等の講習会、教養講座、座談会等が随時開催され、勤労婦人の心の寄りどころとなつているとともに、働く婦人や勤労者の主婦たちのいろいろの会合や宿泊をかねての娛樂会等に使用されている。

◎神奈川県立ゆうかり園

(所在地 横浜市戸塚区二ノ橋町四六八)

ゆうかり園は児童福祉法に規定された肢体不自由児のための施設で手足又は体の機能の不自由な子どもの治療を行うとともに、将来の独立自活に必要な知識や技能を与えることを目的として設置された。敷地面積約一万二千平方米(三、五二三坪)、このなかに本館及び職員公舎が建つている。事業が開始されたのは昭和三十三年九月で現在一〇〇名近い児童(収容定員二〇〇名)が入園している。

事業内容としては、現代整形外科の最新の技術と器械による治療のほかに児童指導員や保母等が児童と起居を共にし家庭的雰囲気の中に一人で日常の身の廻りの始末ができるよう生活指導を行つてゐる。また県立養護学校が併設され、教室又は病室において治療しながら義務教育の課程を修得できるようになつてゐる。

この施設の対象となる児童は神奈川県在住の十八才未満の手足の不自由な児童(児童福祉法によつて措置することが定められてゐる)で、概ね一年半程度の治療と生活指導により将来自活できる知識と技能を修得する見込みのあるものとなつてゐる。入園に要する費用は一ヶ月約一八、〇〇〇円程度であるが、それぞれが家庭の負担能力に応じ、費用の一部又は全額免除の措置がとられてゐる。

◎ 社会福祉法人 八幡学園

(所在地) 市川市北方三ノ四九二

八幡学園は児童福祉法の精神薄弱児施設であつて、満一八才までの精神薄弱の男子を收容保護して職業指導を行うことを主な目的としている。

昭和三年一二月に市川市八幡に設立、同十六年に現在地に移転し、定員八五名、職員は一八人で、一五三〇坪の敷地に三四〇坪の建物有し、他に農場と水田を有する。

経営は児童福祉法による收容委任費、個人委任者の納入金、助成金、共同募金の配分金事業収入、寄附金等で行われている。指導は児童の知能程度によつて四組に分け、農園芸、裁縫、手芸、造型、木工、染色、塗装、養禽、絵画、音楽、体育、遊戯等の課目を行う。

◎ 千 葉 港

(建設事務局所在地) 千葉市神明町四九七

1. 歴史と沿革

千葉港は、鎌倉時代(約八〇〇年前)すでに寒川港といふこの地方一帯の唯一の港として、舟運の中心地であり、薪炭米穀、葛粉等を移出し、塩等を移入していた。

明治二七年、佐倉、錦糸町間の鉄道開通に伴つて、舟運輸送に転換されるに従い、次第に衰微しつゝあつたが、その後船が大型になつて来て、機帆船が沖にとまり小船で連絡することが多くなつたので、明治四三年に水深を二米にし航路及び泊地を設け、更に船だまり沿いに長さ五〇〇米、巾一一〇米、面積一一万平方米の出州埋立地を作つて、荷揚場とした。

大正一一年には港湾指定をうけ、青物及び鮮魚の集配の中心となつていたが、昭和一五年に至り、内務省土木会議で決定した東京湾臨海工業地帯造成計画に従い、千葉港南方に工場造成の目的で九〇万坪の埋立てが始められ、それが六割位できたところで終戦を迎えた。

戦後、千葉港は、京葉臨海工業地帯造成計画の中心となり昭和二年以降、果もすでに九億円に達する費用を投じて、航路、泊地の浚渫、防波堤、公共物揚場の建設を完成、万吨級船舶が連日出入港する近代的工業港となり、昭和三二年に

指定されている。

2. 現 況

(1) 内 港 千葉港の内港の水域は、二七五、〇〇〇平方メートルで、水深は大体四・〇米から九・五米である。

この内港を利用する船舶は、最大重量トン一五、〇〇〇噸級であるが、ふつう一、〇〇〇噸級で、多いときは一〇数隻錨泊している。内港の施設は公共物揚場と川崎製鉄株式会社千葉製鉄所の専用埠頭である二三七米の寒川埠頭及び一九、〇〇〇平方メートルの寒川船溜りである。公共埠頭の背後には三四〇〇平方メートル、二五、〇〇〇平方メートルの臨港倉庫、三三、〇〇〇坪の野積場がある。

貨物は主として小麦、石炭、建設用資材である。

(2) 公共物揚場 現在、当港唯一の物揚場で昭和二六年度から三〇年度までに築造され、その延長二五・一メートル、五〇〇噸級船舶が四隻同時に着岸可能である。これを利用して陸揚げされる貨物は、年間約一二万噸である。

(3) 航 路 南防波堤灯台より港外に通ずる延長三六〇メートル、二〇〇米、水深九・五米の航路及び防波堤内東京電力千葉発電所専用埠頭に通ずる延長一、一〇〇米、巾一二〇米、水深七・五米の航路である。

ともに浚渫によつて建設した人工航路で、昭和二七年に四カ年計画で建設に着手し、昭和三〇年に完成した。総工費二億五千万円である。

(4) 防波堤 総延長一、八四六米で、昭和二六年から同三〇

年まで五カ年の歳月と工費三億六千万円で築堤された。南防波堤は、川崎製鉄株式会社千葉製鉄所の建設に伴い、同社専用岸壁正面に位置し、主として川鉄及び東京電力株式会社千葉火力発電所専用埠頭に離着岸する船舶の航行に備えた施設である。この防波堤とは別に東京電力千葉火力発電所の沖合いに延長一、二八一米の波除堤が昭和三年に設置されている。

(5) 埋立計画 千葉工業地帯のうち既に埋立てられたのは川鉄、東電、千葉、幕張船橋等、一五五万坪に達し、またすでに着工しているもの及び着工の定まつたものでも、五井、市原地区一九五万坪、船橋地区五〇万坪、市川地区五〇万坪、幕張地区三四万坪、計三三五万坪がある。今後の計画としては出州地先一三〇万坪、浜野地先七〇万坪、計二〇〇万坪を予定している。

◎川崎製鉄株式会社千葉製鉄所

1. 会社について
(所在地 千葉市川崎町一)

川崎製鉄株式会社は、昭和二五年八月に川崎重工業株式会社からその製鉄部門が独立して新発足したもので、資本金六一億、八つの工場に従業員約二万人を擁し、その製品は年間八五万噸、銑鉄から各種二次製品に及んでいる。

2. 千葉製鉄所について

この製鉄所は昭和二六年二月、千葉市の南方、東京湾に面

する約九五万坪の敷地に着工して、二九年九月第一期工事を完了したが、更に第二期工事が三十三年に逐次完成して、戦後建設された唯一の銑鋼一貫工場となつた。当製鉄所の特徴は、埋立の敷地に、他の条件に煩わされず、能率本位に経済的効果を最もよく発揮できるように、最新式の諸設備が配置されていること、海運の便のよさ、背後に大消費市場を有すること等である。

こゝに働く従業員は約七五〇〇人、うち女子は二六〇人位で、圧倒的に男子が多い。女子の職場は殆どが事務で、現場には検査関係に五三人いる。

この製鉄所で作られている製品は、厚鋼板、薄鋼板、ワイヤロープ熔接棒等であり、造船、自動車などに用いられている。

◎千葉県魚業協同組合婦人部連絡 連絡協議会について

千葉県の漁協婦人部は、一一、〇〇〇人の会員を有し、四九の支部があつて、地区協議会のきいているところも四カ所ある。

会の四大目的として漁協への協力、貯蓄増強、生活改善、文化活動を掲げており、特に漁協への協力には力を入れ、共同購入、共同出荷、運搬、加工などの面で協力し、その利益や日当を婦人部として貯蓄しているところもある。貯蓄増強も大いに促進されて、漁協に婦人部員が預けている貯蓄総額は三八〇〇万円に達している。

会員の多くは漁業協同組合員の妻で、地域婦人会や農協婦人部にも入っているものが多い。会報が年二回発行される。

なお、千葉県の漁村婦人が忙がしいのは、湾内では十一月～三月（のり）内外房は四月～九月（てんぐさ、あわび、さざえ定置網）、九十九里浜方面は九月～三月であるが、その他の時期も農作業等のため一年中忙がしい。

◎幸松地区の婦人の部落学級について

(春日部市幸松地区)

1. 地区の状況

幸松地区は昭和二十九年七月一日に近接一町三カ村と合併して春日部市となった。人口は五、六〇〇人、戸数は九八七戸で、この地域一帯は農業地帯で全戸数の七割は農家であり二割位が町化している。幸松婦人会(会長、長野都司恵氏)は十三支部を有し会員数五三五名である。

2. 部落学級について

(1) 沿革

- 昭和二十九年三月、春日部保健所より家族計画のモデル地区として指定をうけた。
- 昭和三〇年、合併と共に婦人会の事業の一環として取上げ、計画実施してきた。
- 昭和三十一年度文部省研究委嘱の国民科学講座をうけ、「家庭の科学化」について研究。
- 昭和三二年、中央婦人学級を開くと共に末端の人たちのために部落学級を開催。
- 昭和三十三年、部落学級が各支部毎に開設。
- 昭和三十三年十二月、学族計画について厚生大臣賞を受く。

(2) 活動状況

今且視察する西不動院野を含めて七つの部落学級と家庭映画会グループが六つある。会員はそれぞれ二〇名から三〇名程度である。

- 主として生活改善を中心とした学習が展開されている。
- 生活改善グループ(五地区)
- 食改善グループ(一地区) 栄養摂取状況調査に基く。
- 農業改善グループ(一地区) 生産活動。
- 各支部の地区性があるので学習課題及び内容は各支部によつて自由で異つてゐる。例えば、保存食、栄養食の講義と実習、改良上衣の工夫、わらぶとん作成、農業経営の知識、春まき白菜栽培(ビニール利用)、環境衛生、時間を守る訓練、発表力の養成等々。
- 学習方法は映画フオーラム、話しあい、調査による実習他地区の実際見学、講義等を利用している。
- 学習時間は毎月一回午後一時より四時。場合によつては午前中より実施する。
- 学習の効果としては結婚の合理化が実現されつつある。
- (婦人会の貸衣装が三六回利用されている)
- 家庭映画会は六地区で実施している。映画と中心とし

ての自由な話合のうちに、民主社会のあり方、明るい人間関係、健康で文化的な地域社会をつくること等を学んでいる。

○各グループは責任者はいるが、グループ全員が役ににつき、分担で責任を持つている。会場は各家庭まわり番。

◎岩槻市の人形製造業について

埼玉県産業の特色として種々の家内工業を無視することはできない。中でも岩槻鴻巣付近の雛人形は全国各地のみならず外国へも輸出される特産物であるが、特に人形の頭部では全国の九割を生産している。中でも岩槻地区は全国第一位を誇っている。

岩槻人形は徳川三代將軍の日光廟造営にあたり、諸国から集った工匠の一人が日光街道の一駅であつた岩槻に居住して作りはじめたのが元祖といわれている古い伝統があるが、明治初年頃から家内労働生産が盛となり漸次隆盛に向つて、三月人形、五月人形、木目込人形、舞踊人形、おやま人形、歌舞伎人形、市松人形など、年間数億円の生産をあげ今後の見通しも明るいものがある。しかしその製造は特殊な手先の技術によるので大企業での大量生産は行われていない。労働者を雇用する事業場は五十足らず、しかも殆どが労働者数五名以下の規模で、労働者を使用しない自営業者の他に家庭の婦人や老人の内職者が千名といわれ、町全体が一つの姿なき工場として人形製作が行われている。製作は殆ど分業により、頭屋、手足屋、衣裳屋、小道具屋、人形ケース屋などの専門業者から、それぞれの部品を集

めて組立て、完成した人形を御問屋や小売店へ取引するのが製造問屋である。

①衣裳づくり ②頭づくり ③手足づくり ④小道具づくり
⑤組立という工程のうち①から④までは殆ど家内工業によつて

いる。
十月と五月までは繁忙期、六・九月は閑散期である。

◎東邦レース株式会社上尾工場

(所在地 上尾市上尾宿一、八一〇)

埼玉県は京浜工業地帯の延長として金属、機械器具、化学其他殆ど全工業を網羅した工場地帯が県南から県北にのびている。レース工業も本県産業の特色で、アフリカ中南米、東南アジアはじめ各国輸出版業の花形であり、大宮市の北三里国道ぞいに、エレガントな刺繍レース、トリコットを製造する東邦レース上尾工場もその一つである。

労働者数六四二名(四三三月現在) 中女子は五六三名、更に四月には新規中卒者が六一名(内男二名)が入社する。女子労働者は殆ど、新潟県出身で他に茨城県その他、全員が工場附設寄宿舎に起居している。女子労働者の平均年齢十九才弱、平均勤続年数は三年三カ月である。清潔な冷暖房の完備した作業場に女子労働者が様々のレース模様を作り出しているが、大本の図案をつくる原型室には、美校出の女子デザイナーもいて日々新しいセンスのデザインを生み出している。

女子寄宿舎は鉄筋コンクリート建四寮八三室、寄宿舎生活は自治会活動によつて運営されている。

諸施設として図書室、娛樂室（テレビ、電着）医務室、病室、大食堂の他、諸種の運動設備があり、教育施設としては東邦淑徳学園で、編物、書道、花道、英語などの教科目を学ぶことができる。又各種の運動部の他に、音楽部、写真部、文芸部などの組織がある。

なお、全織同盟埼玉県支部東邦レース労働組合が組織され、女子も執行委員に選出されている。

◎郷土芸能もちつきおどりについて

徳川時代の参勤交代の大名の旅情をなぐさめるため、はじめたものであるといわれている。現在、県内でも大宮市以外に数カ所のこつている。いろいろの祭り祝事などに接待餅を四人のつき手と一人のこねどり、十数人の歌い手の音頭に合せて面白おかしく舞いながら祝餅を接待する。市の無形文化財でもある。

女子寄宿舎は鉄筋コンクリート建四寮八三室、寄宿舎生活は自治会活動によつて運営されている。

諸施設として図書室、娛樂室（テレビ、電蓄）医務室、病室、大食堂の他、諸種の運動設備があり、教育施設としては東邦淑徳学園で、編物、書道、花道、英語などの教科目を学ぶことができる。又各種の運動部の他に、音楽部、写真部、文芸部などの組織がある。

なお、全織同盟埼玉県支部東邦レース労働組合が組織され、女子も執行委員に選出されている。

◎郷土芸能もちつきおどりについて

徳川時代の参勤交代の大名の旅情をなぐさめるため、はじめつたものであるといわれている。現在、県内でも大宮市以外に数カ所のこつている。いろいろの祭り祝事などに接待餅を四人のつき手と一人のこねどり、十数人の歌い手の音頭に合せて面白おかしく舞いながら祝餅を接待する。市の無形文化財でもある。

1959年3月25日印刷

1959年3月30日発行

編集発行人 労働省婦人少年局

印刷人 労働省婦人少年局

印刷所 工 文 社
